

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 30日

静岡市長 殿

提出者

住所 静岡市葵区銭座町100番地

氏名 株式会社 平井組

代表取締役 平井 勉

電話番号 054-245-6161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 平井組
事業場の所在地	静岡市葵区銭座町100番地
事業の種類	建設業 - 総合建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

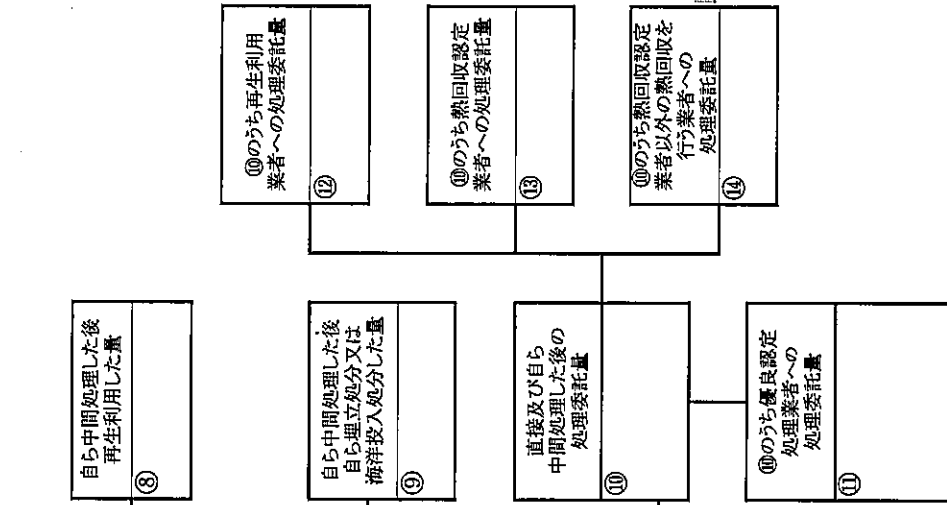
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,181.85 t	全処理委託量	2,181.85 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	123.81 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,058.04 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)



計画の実施状況

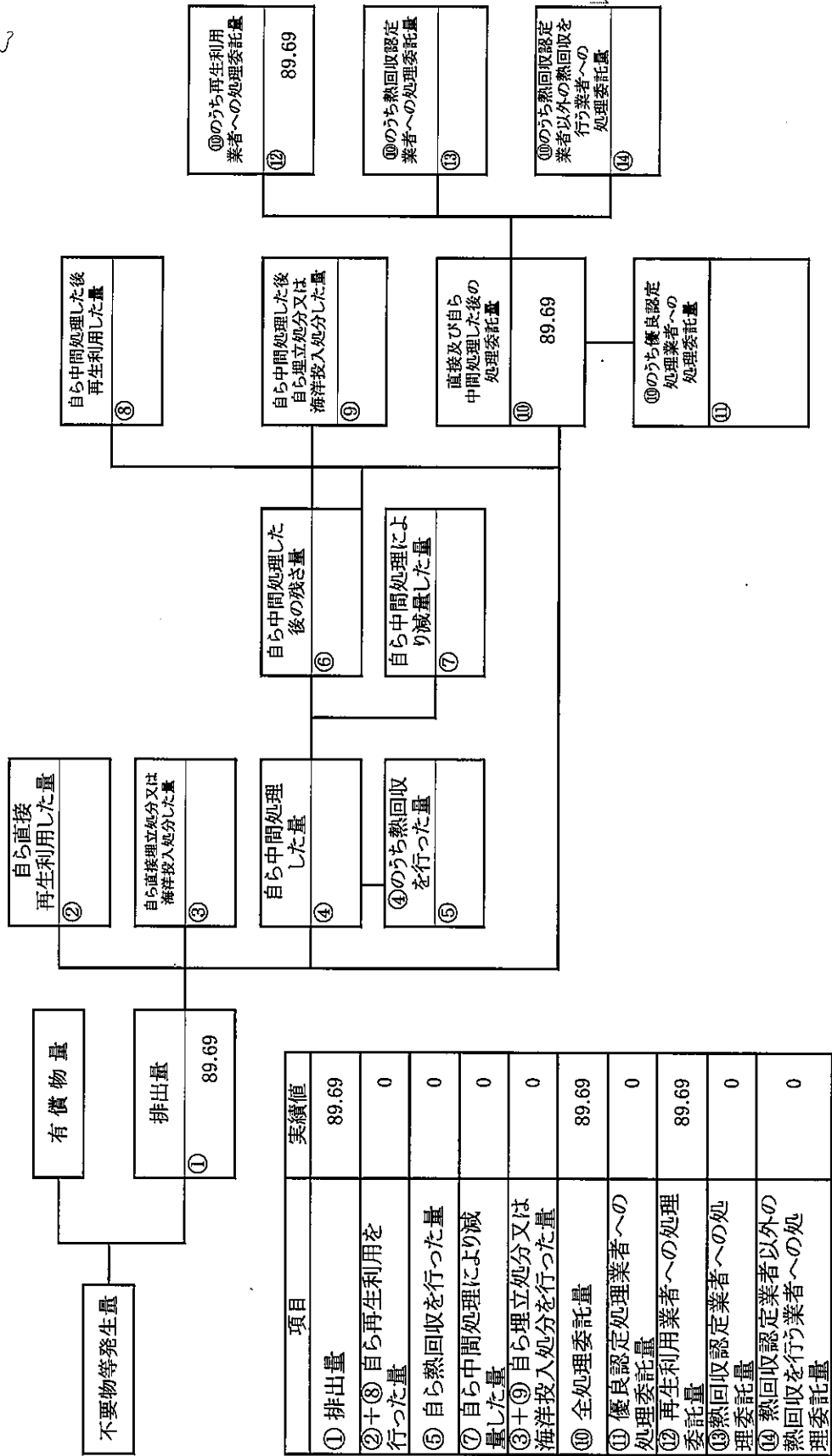
(産業廃棄物の種類： 0811 伐採材・伐根材 )



項目	実績値
① 排出量	0
②+③ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

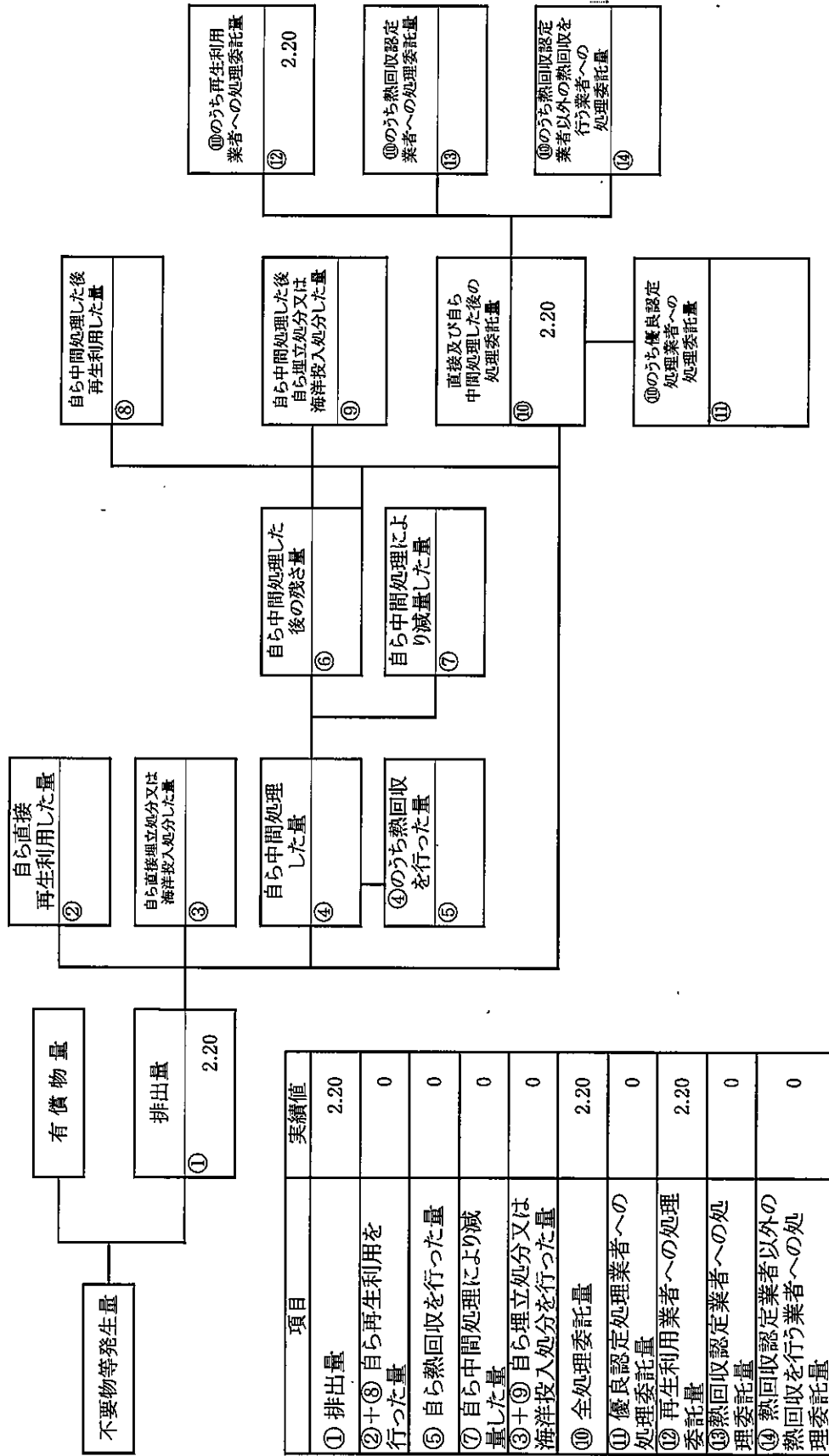
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 0800 木くず )



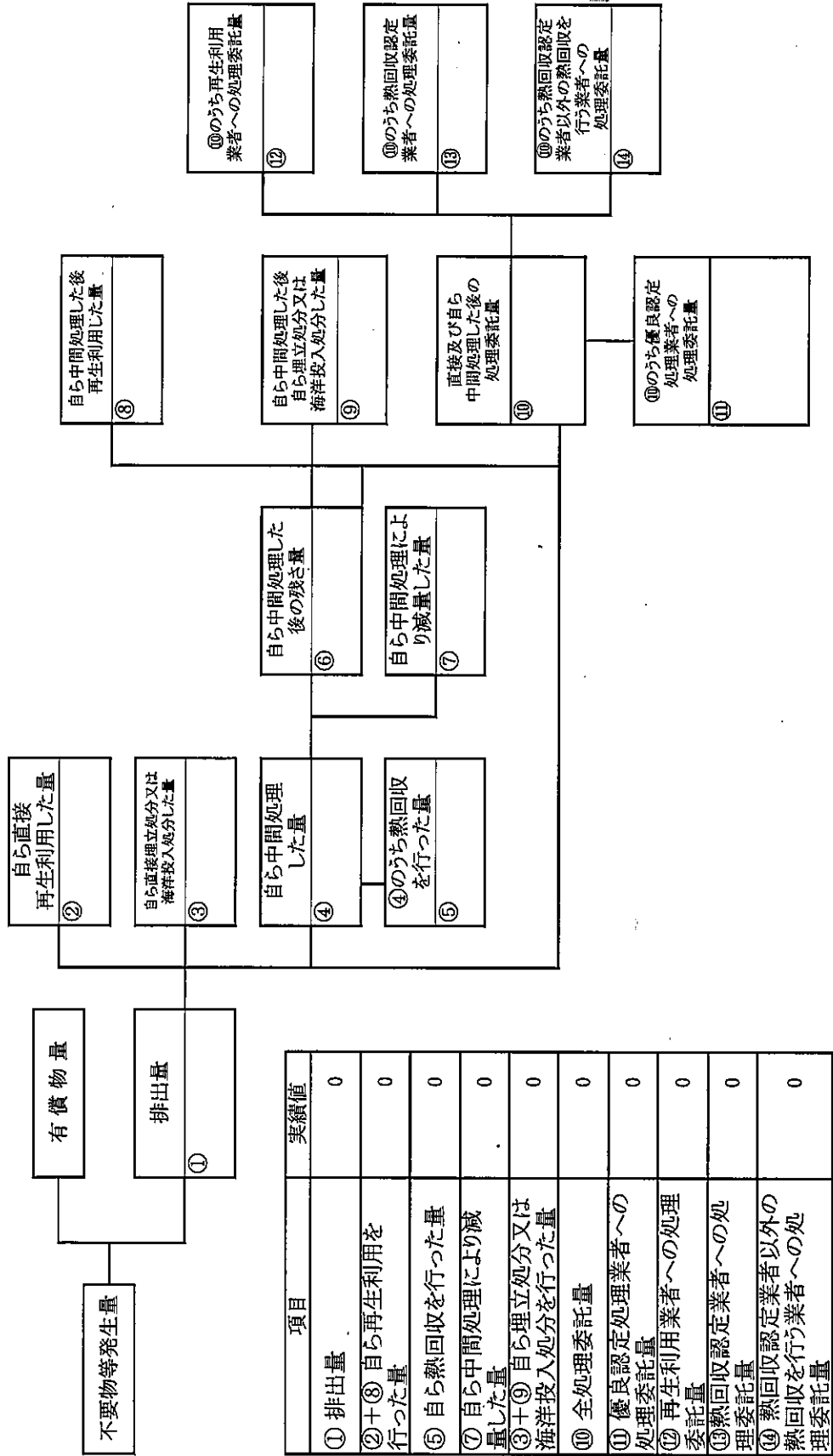
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 0810 建設工事の木くず )



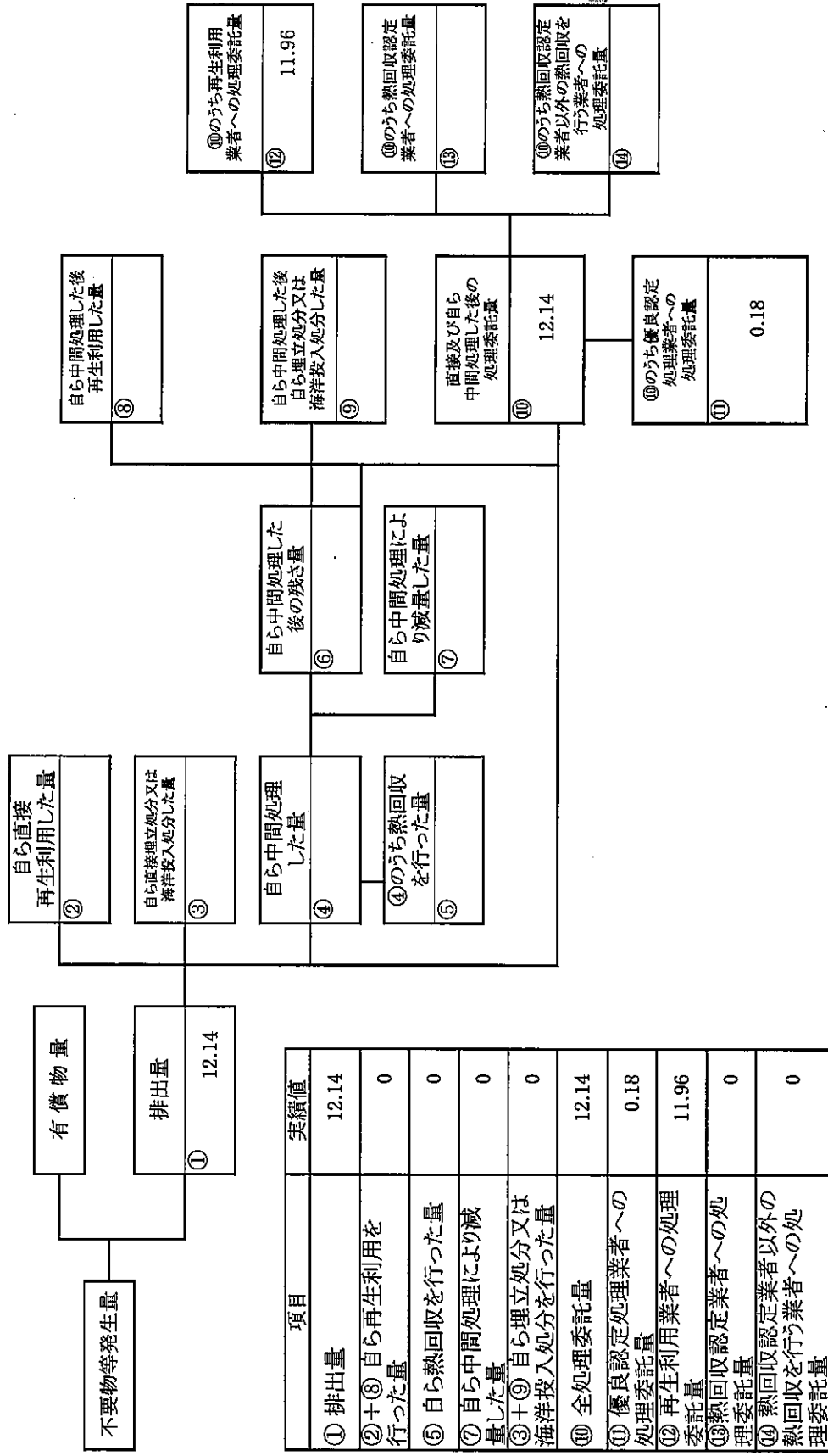
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 0607 発泡ポリスチレン )



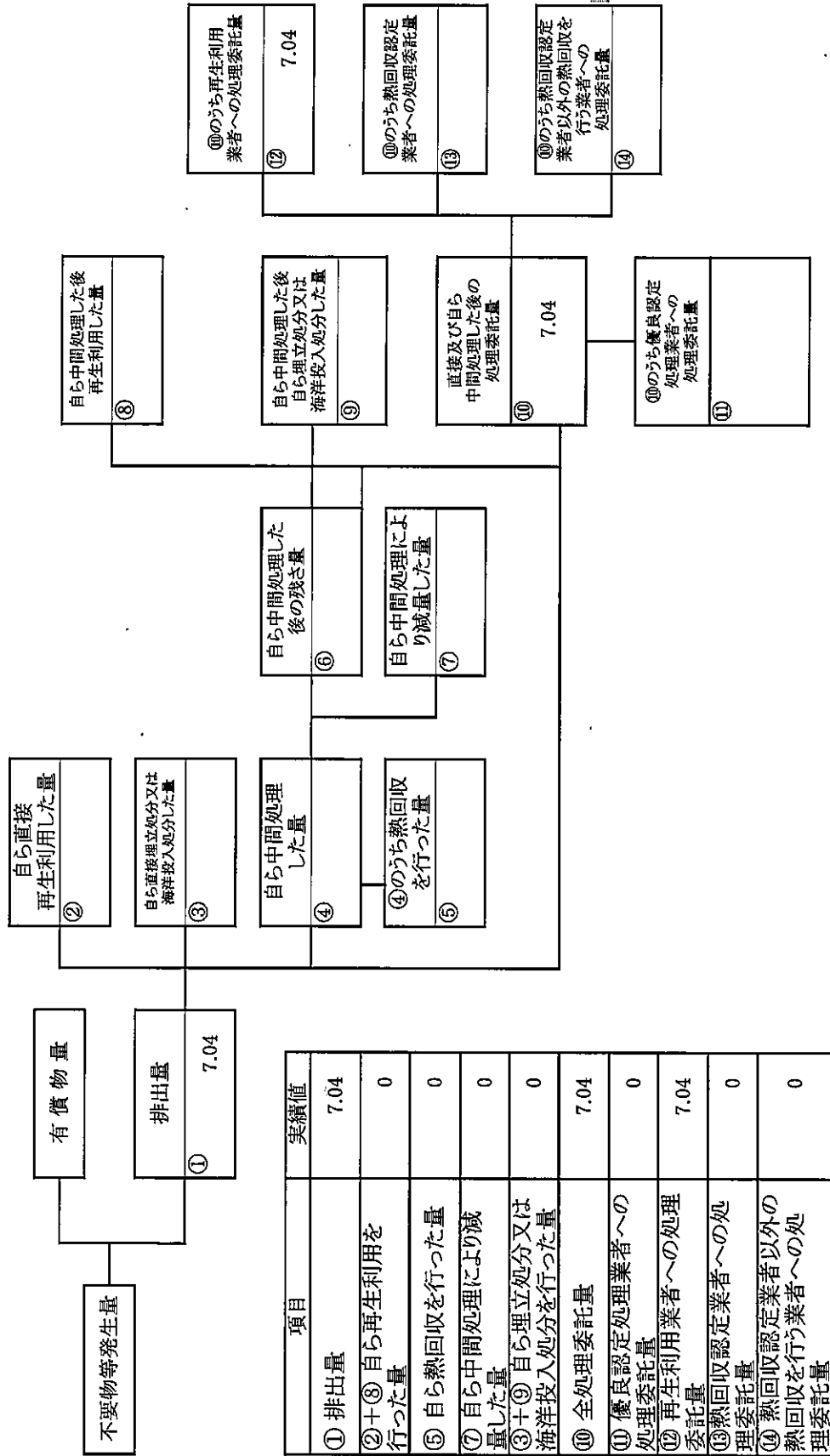
(産業廃棄物の種類： 0600 廃プラスチック類 )

計画の実施状況



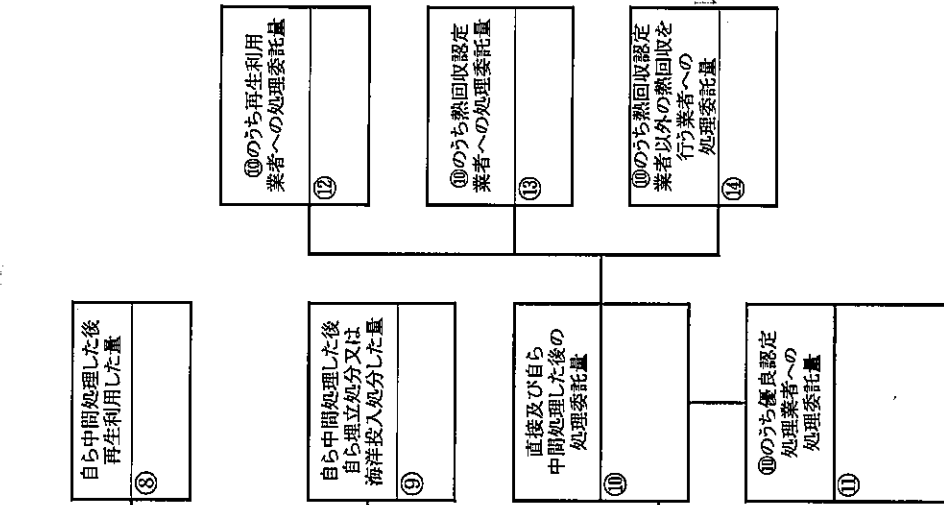
(産業廃棄物の種類： 0221 建設汚泥(残土を除く) )

計画の実施状況



(産業廃棄物の種類： 0910 建設工事の構造物)

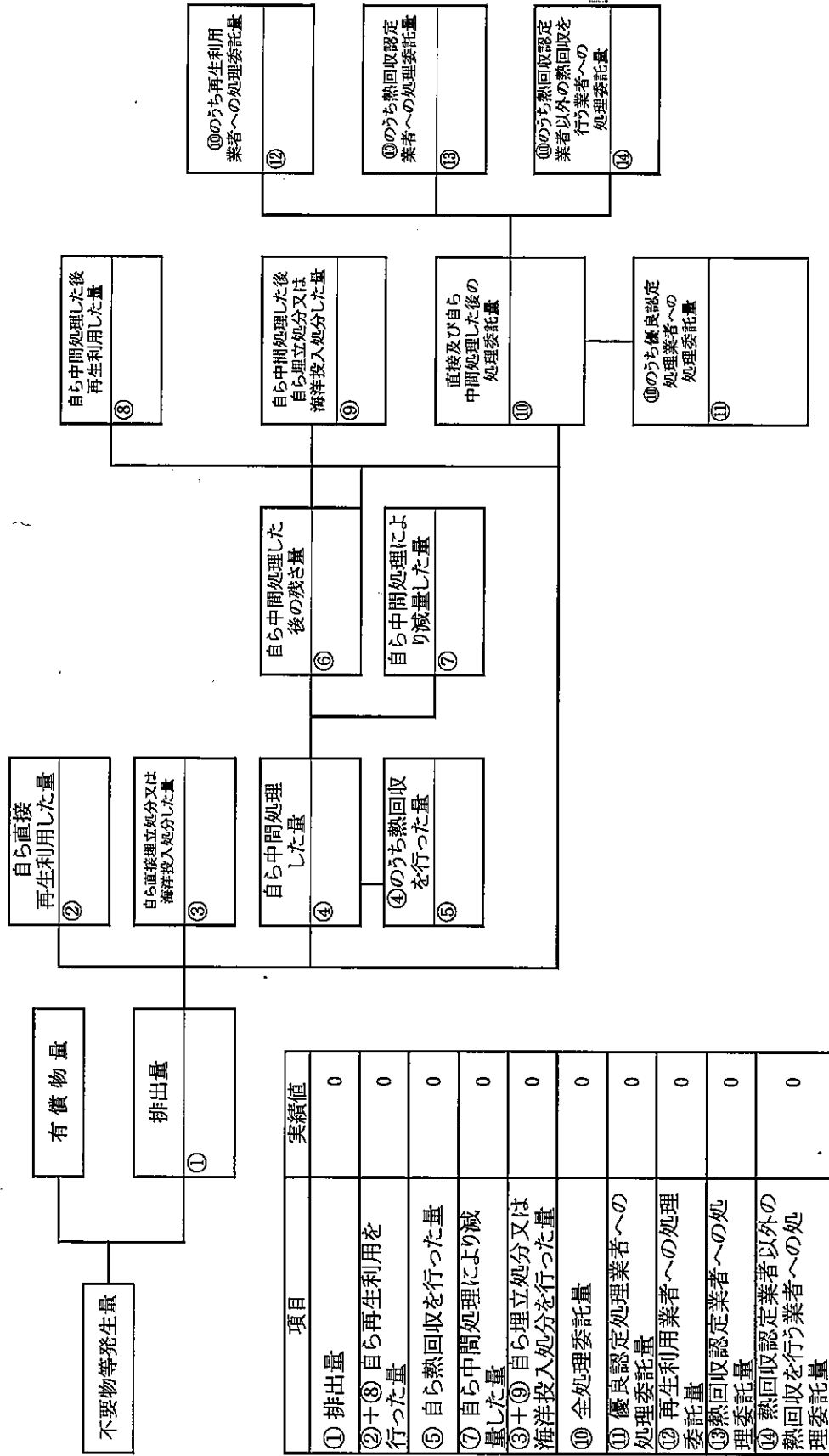
計画の実施状況



項目	実績値
① 排出量	0
②+③ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

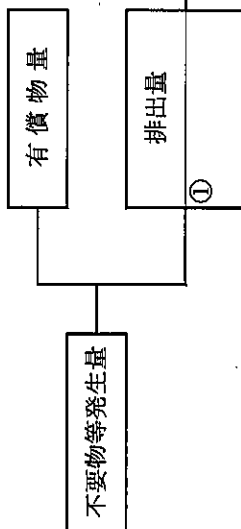
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 1200 金属くず )



計画の実施状況

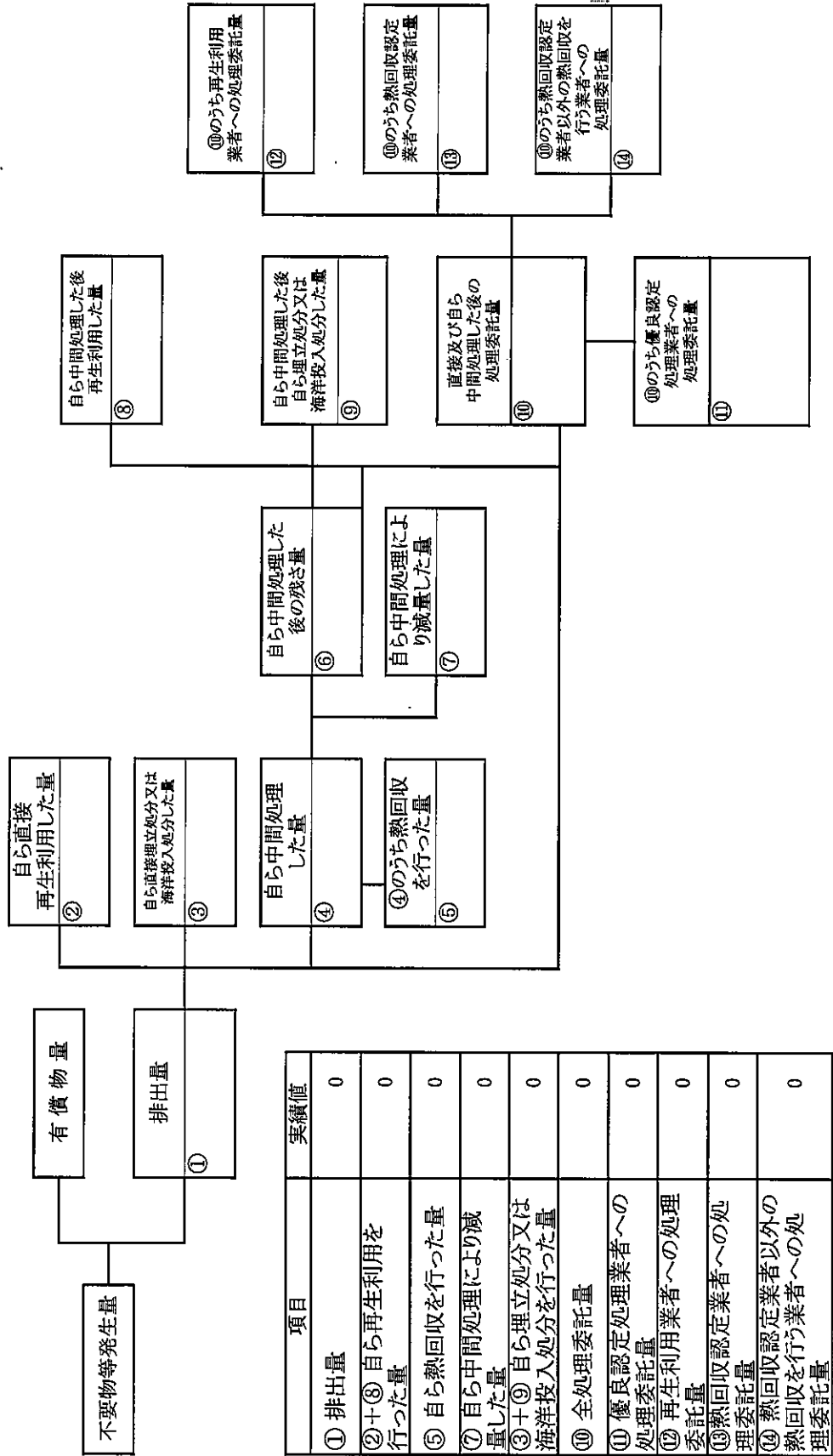
(産業廃棄物の種類： 1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず )



項目	実績値
① 排出量	0
②+③ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

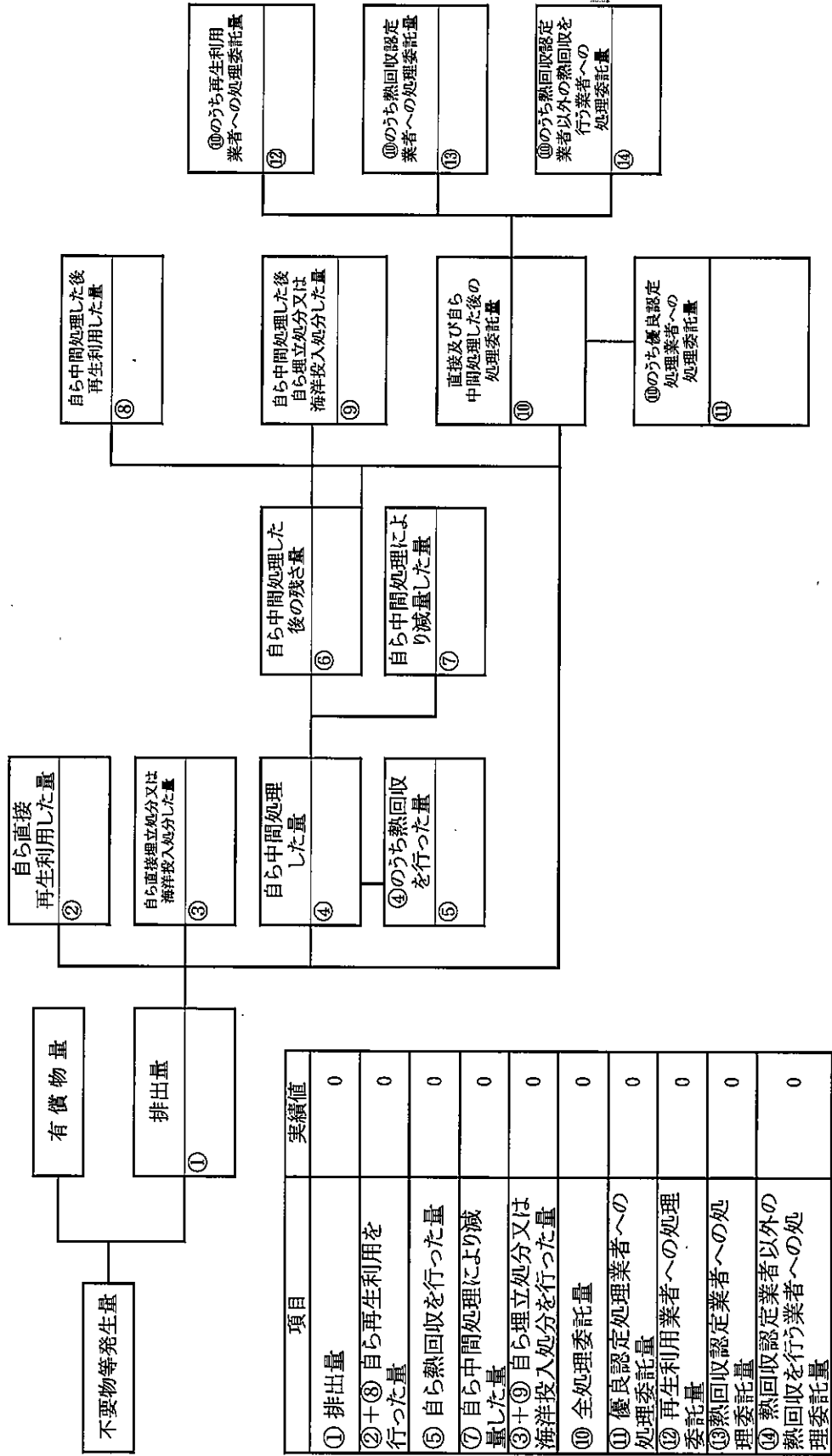
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 1310 ガラスくず )



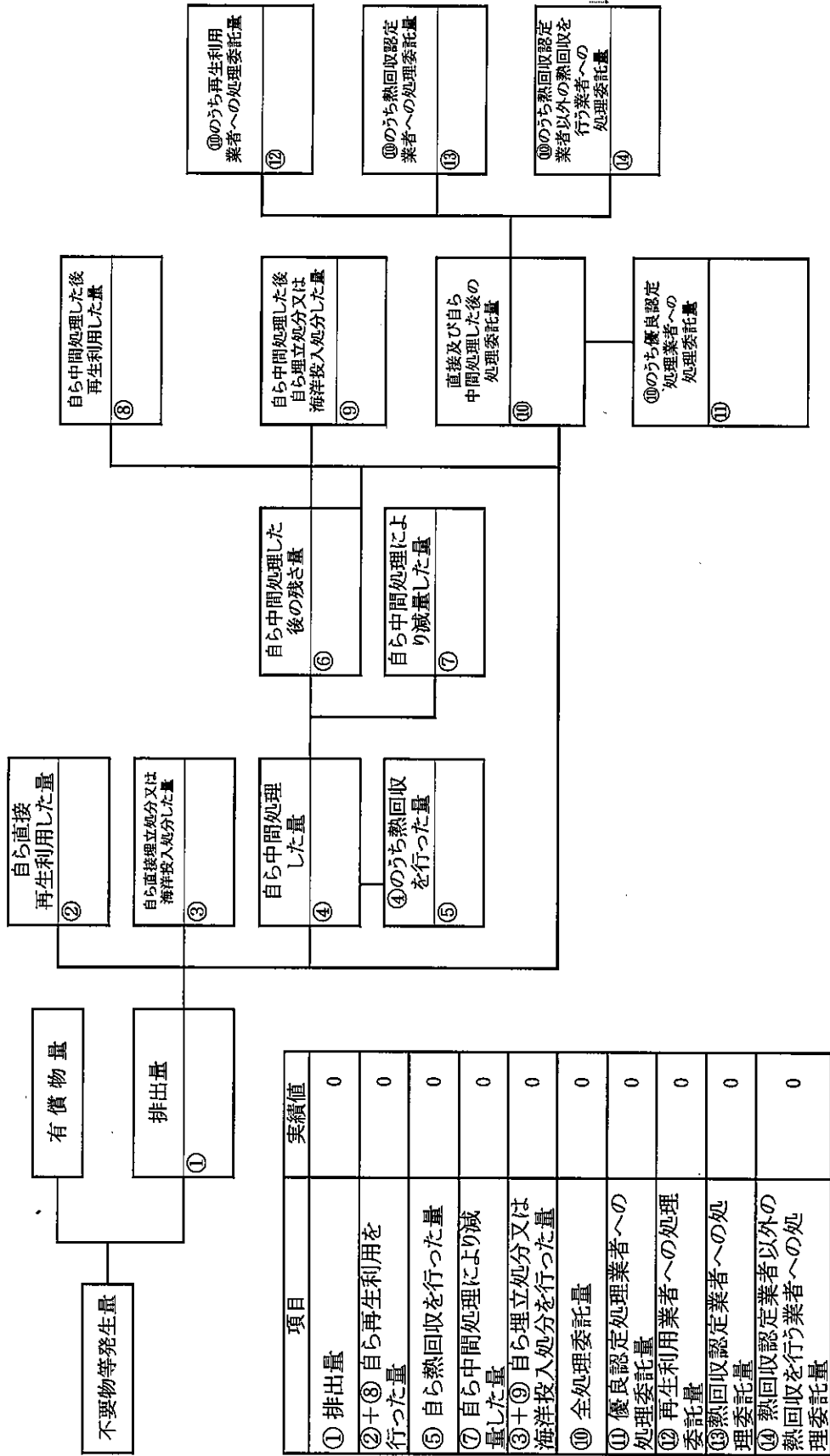
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 1316 グラスウール )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 2521 HIDランプ )



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 2522 蛍光灯 )

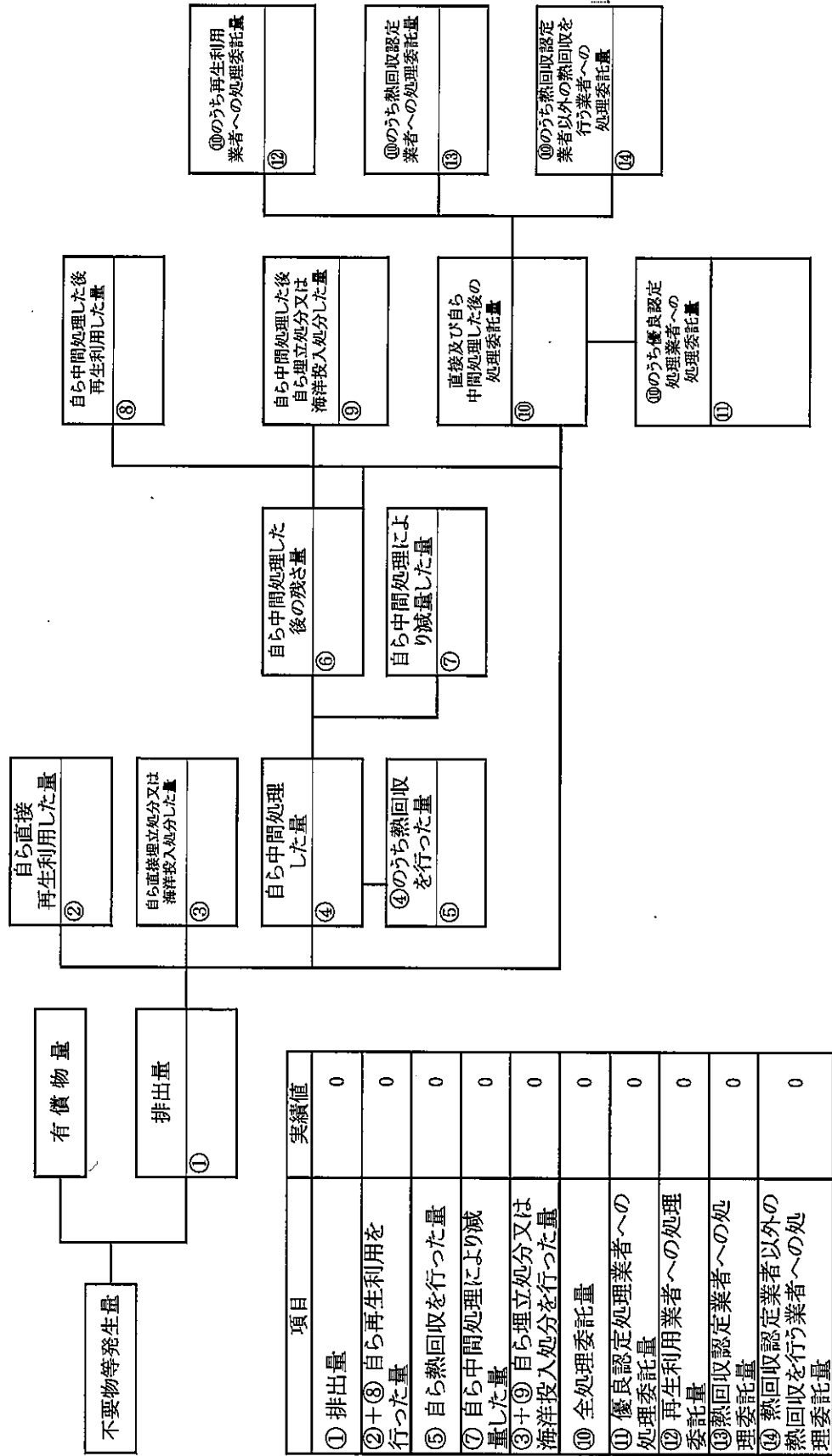
項目	実績値
① 排出量	0
②+③ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

不要物等発生量	有 債 物 量	排出量	①
	自ら直接再生利用した量	②	
	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	
	自ら中間処理した量	④	
	④のうち熱回収を行った量	⑤	
	自ら中間処理した後の残さ量	⑥	
	⑥のうち熱回収により減量した量	⑦	
	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	
	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	
	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	
	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	
	自ら中間処理した後、再生利用した量	⑧	

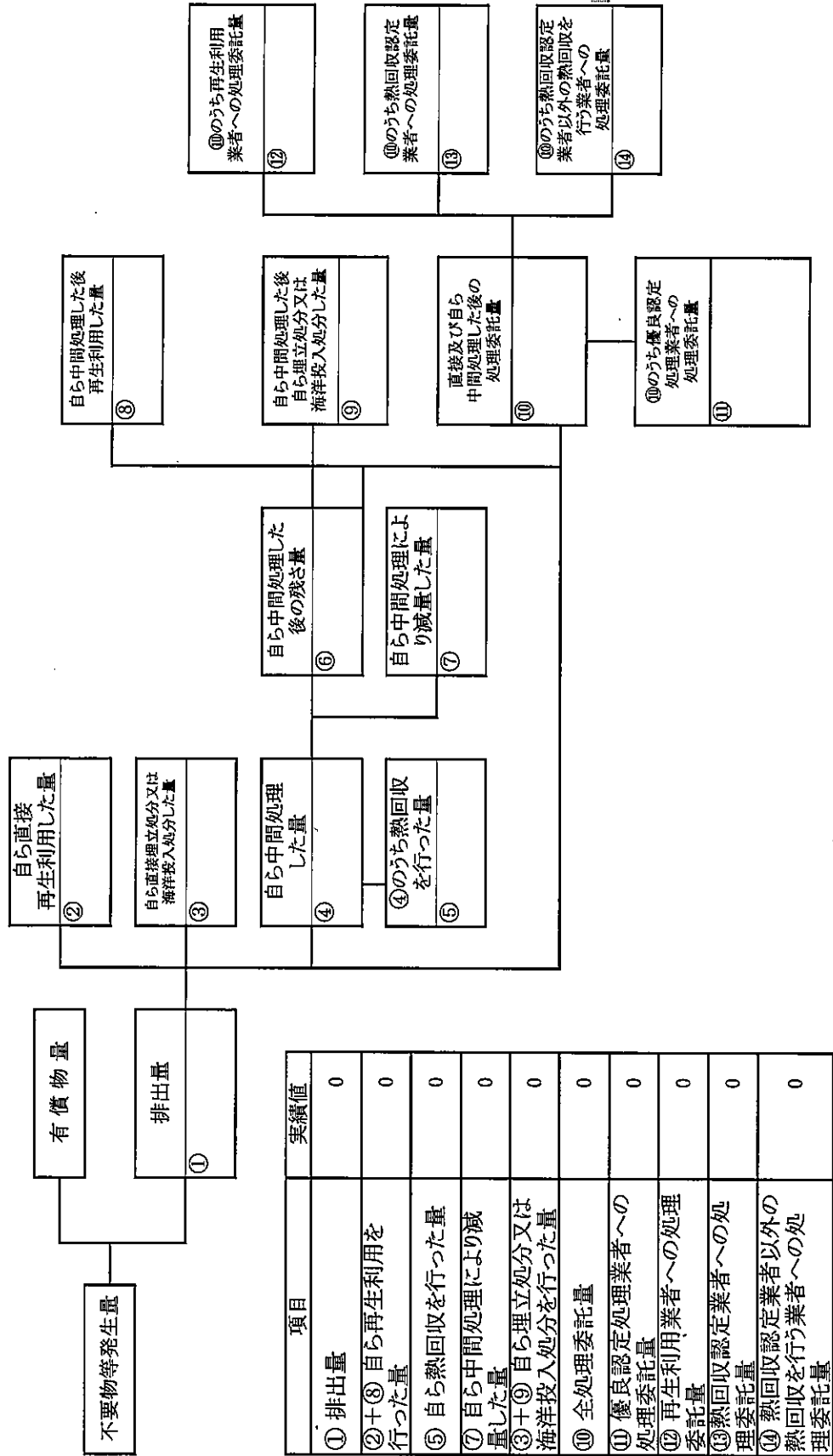
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 1322 石膏ボード )



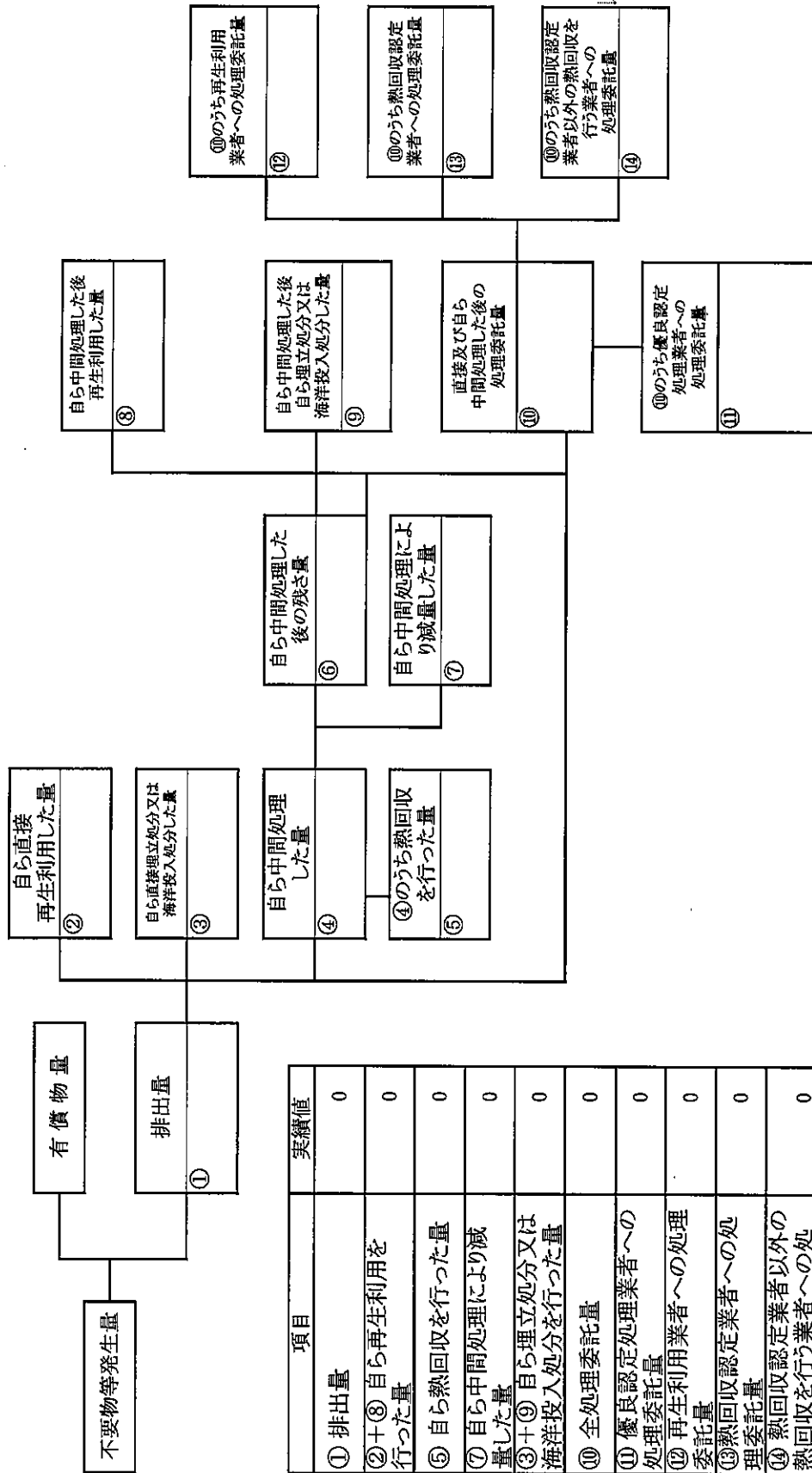
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 2020 管理型建設混合廃棄物 )



計画の実施状況

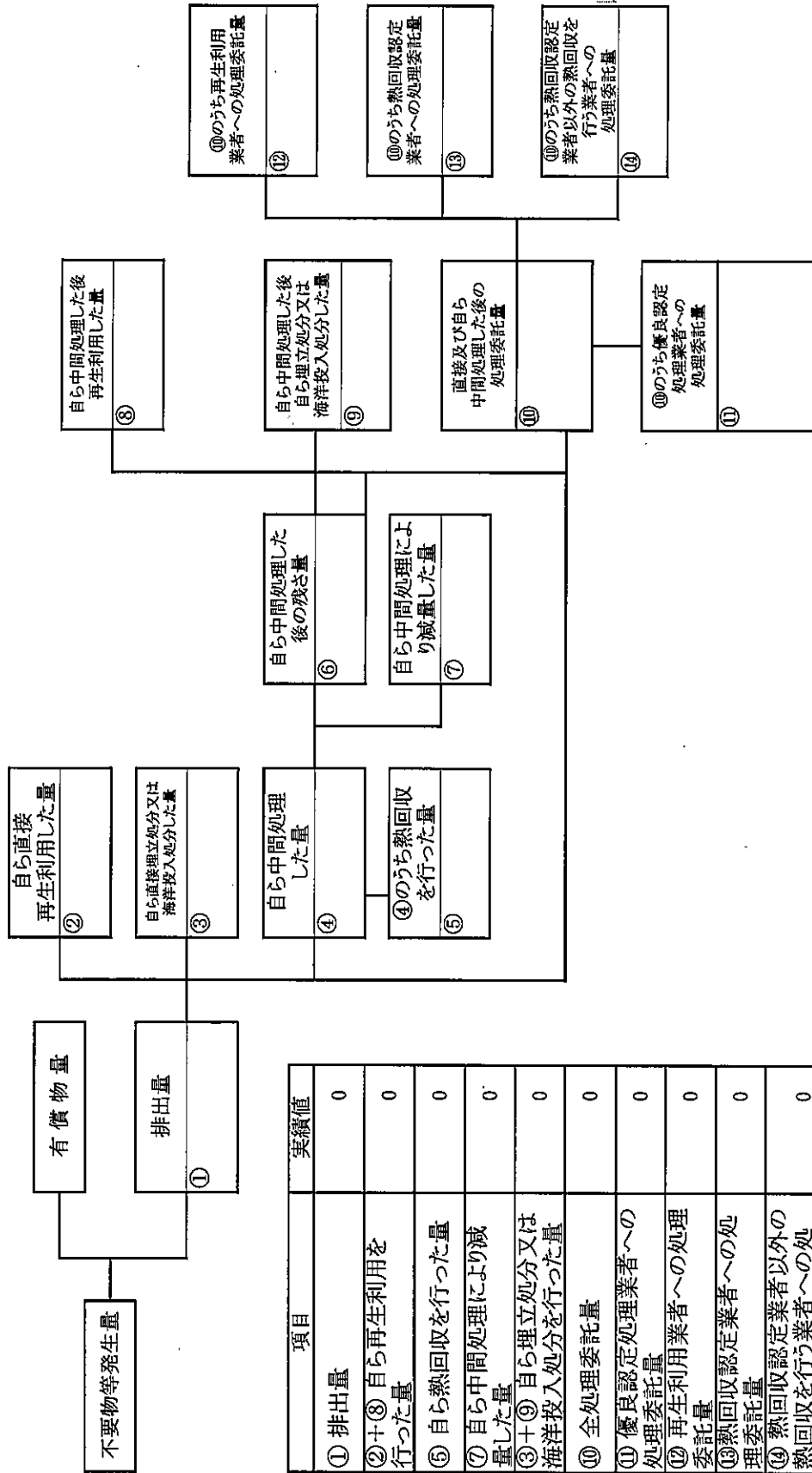
(産業廃棄物の種類： 2200 安定型混合廃棄物 )



項目	実績値
① 排出量	0
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(産業廃棄物の種類： 2430 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物) )

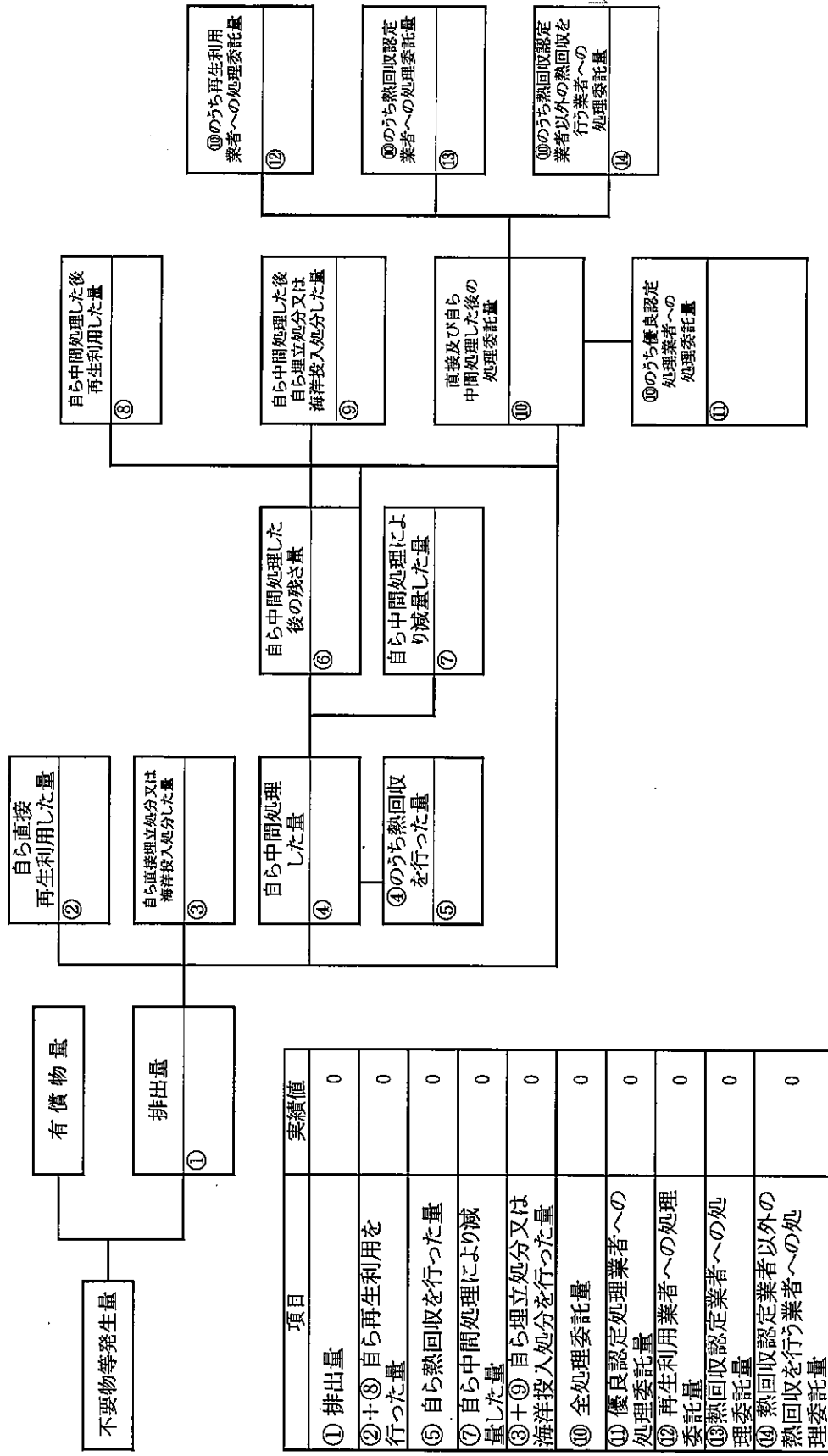
計画の実施状況



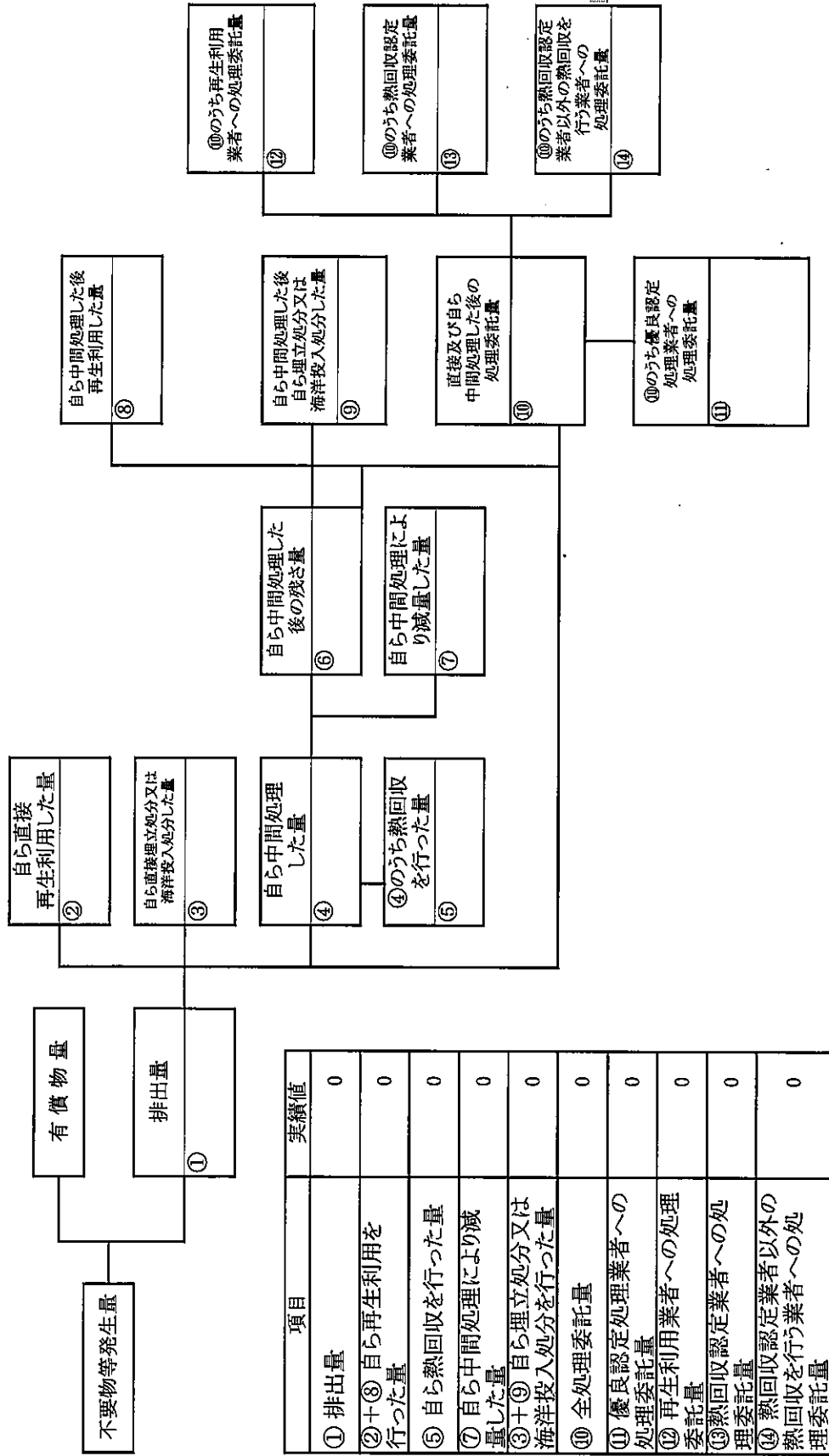
項目	実績値
① 排出量	0
②+③ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 2440 がれき類(石綿含有産業廃棄物) )

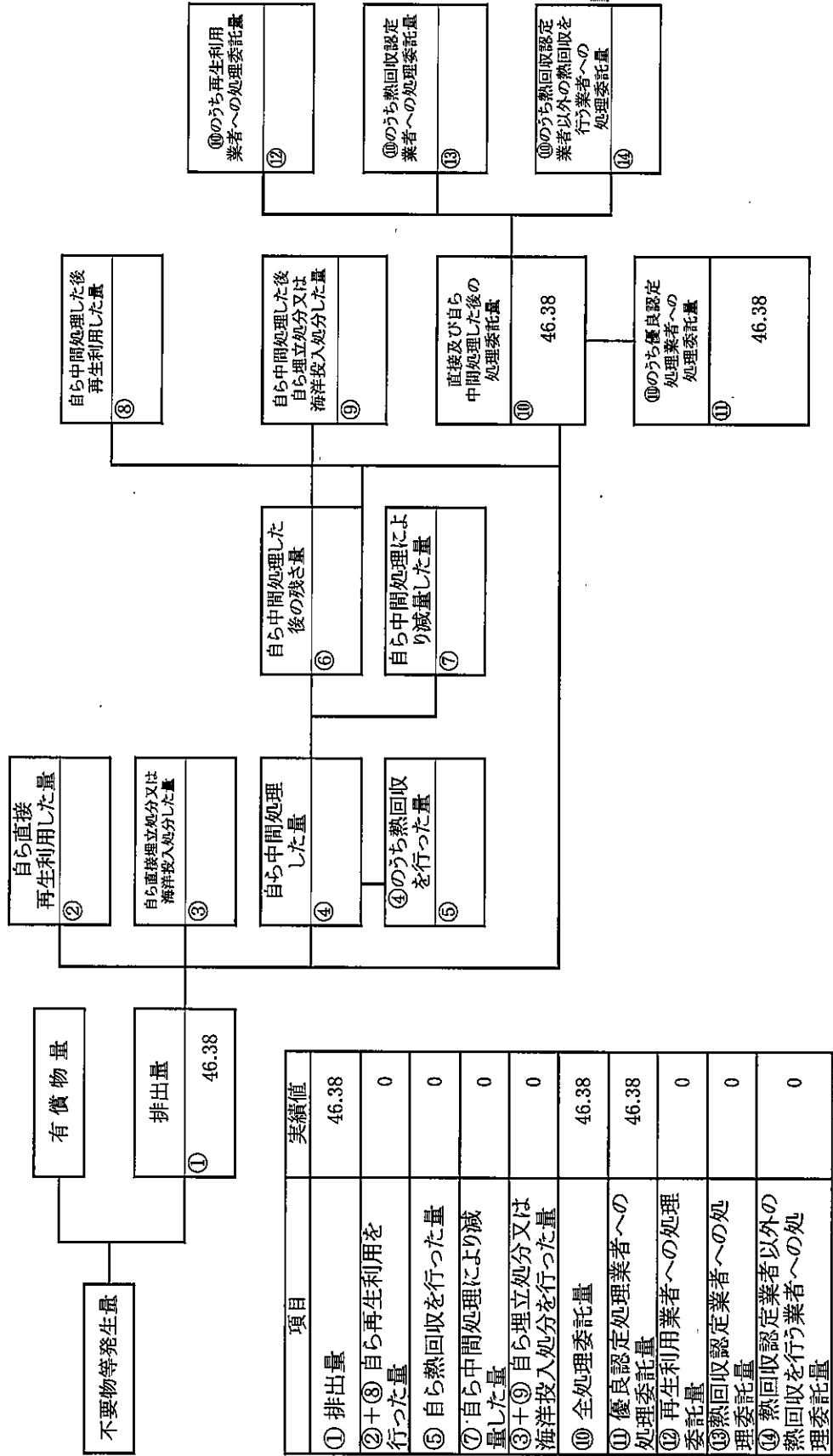


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 7421 廃石綿等(飛散性) )



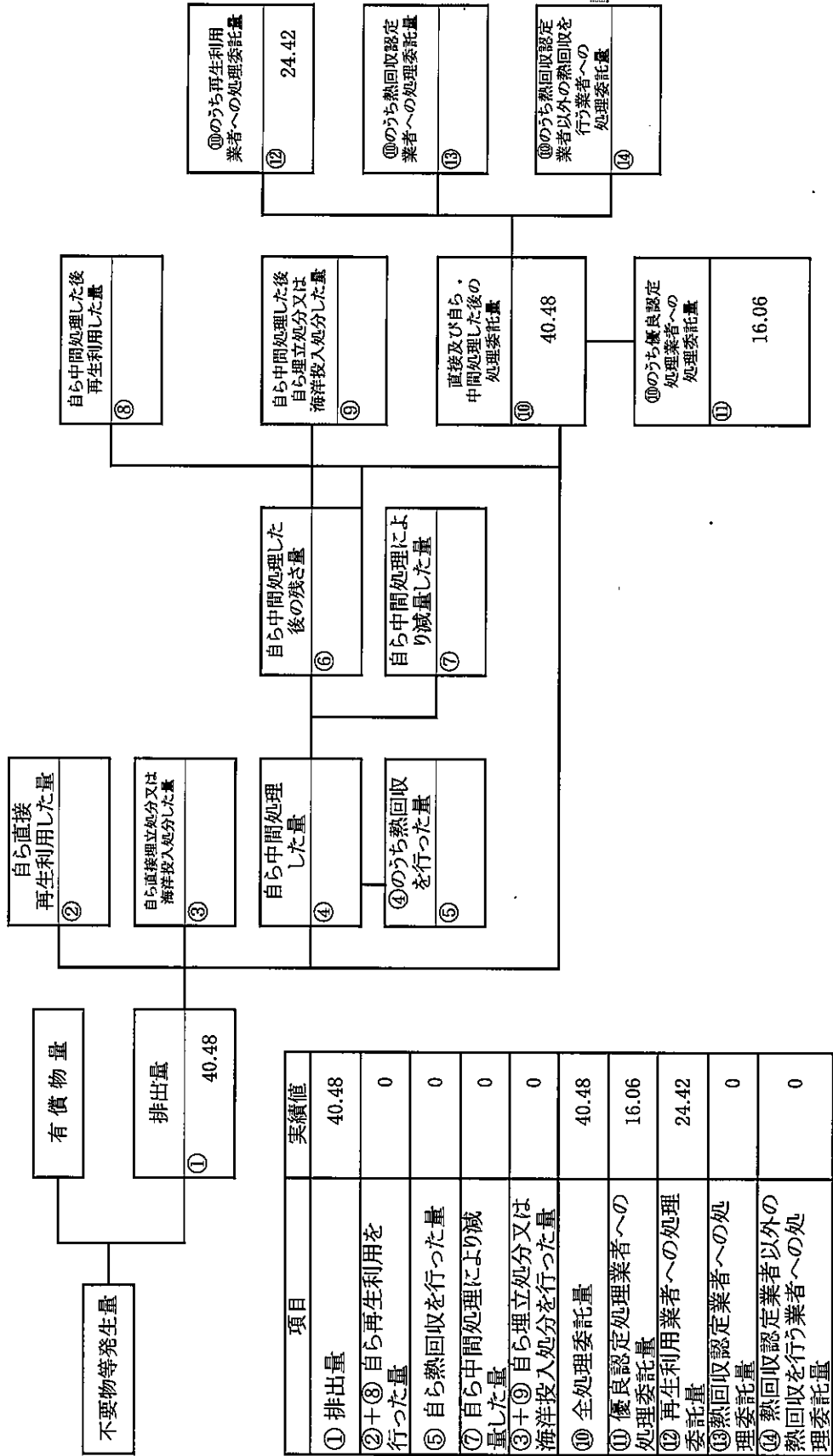
(産業廃棄物の種類： 1321 コンクリートくず )

計画の実施状況



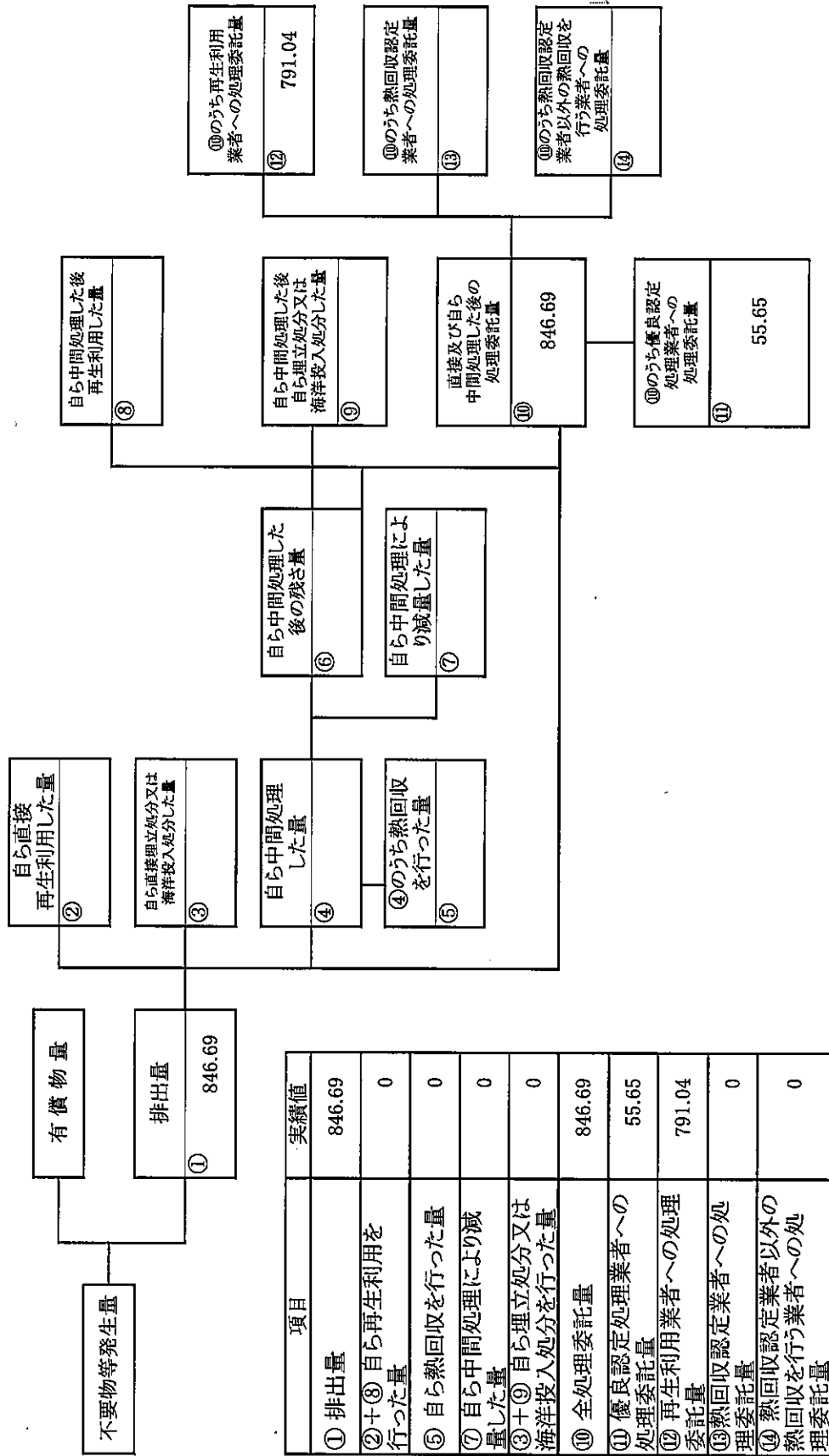
(産業廃棄物の種類： 1500 がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物) )

## 計画の実施状況



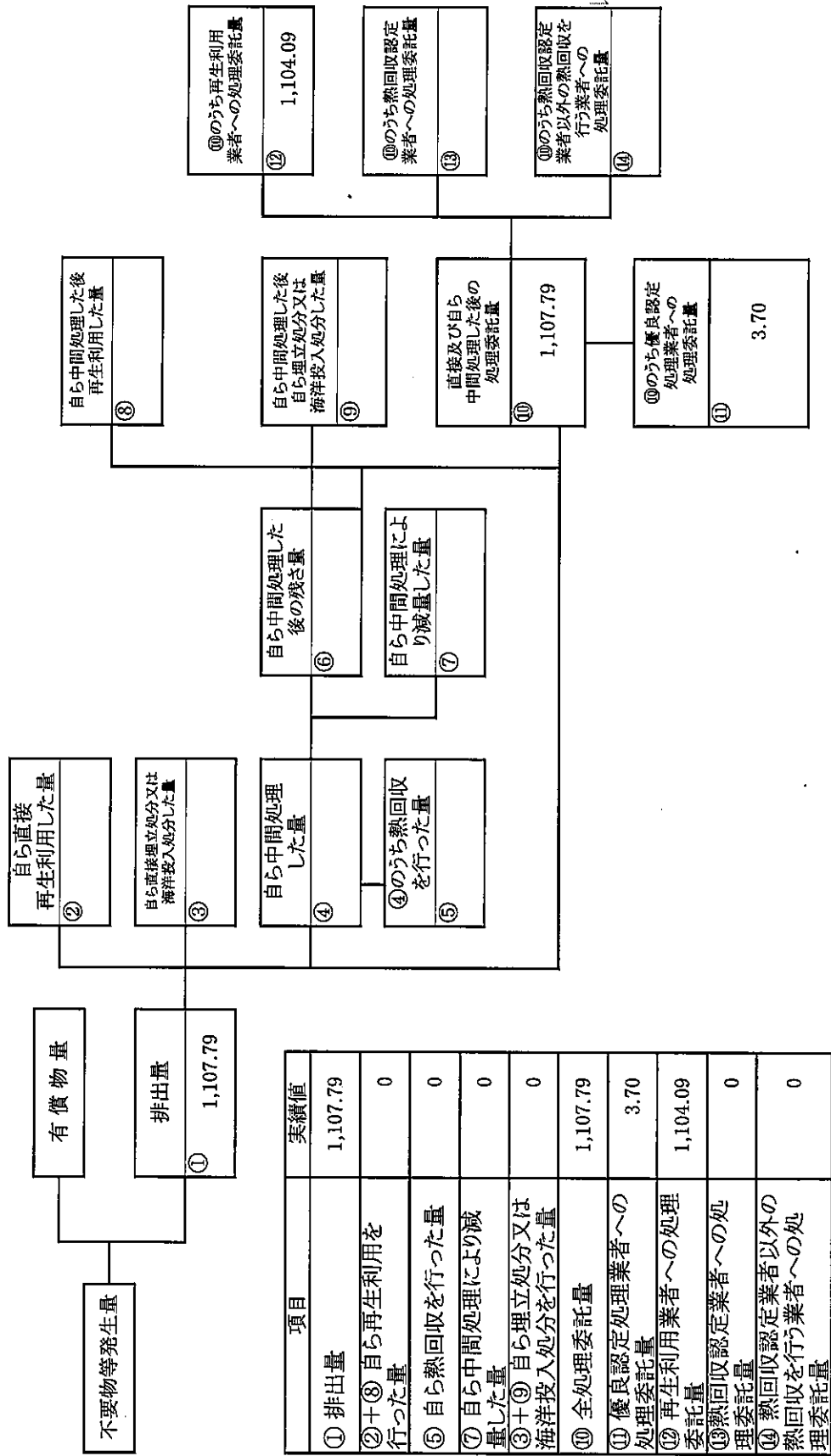
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 1501 コンクリート破片 )



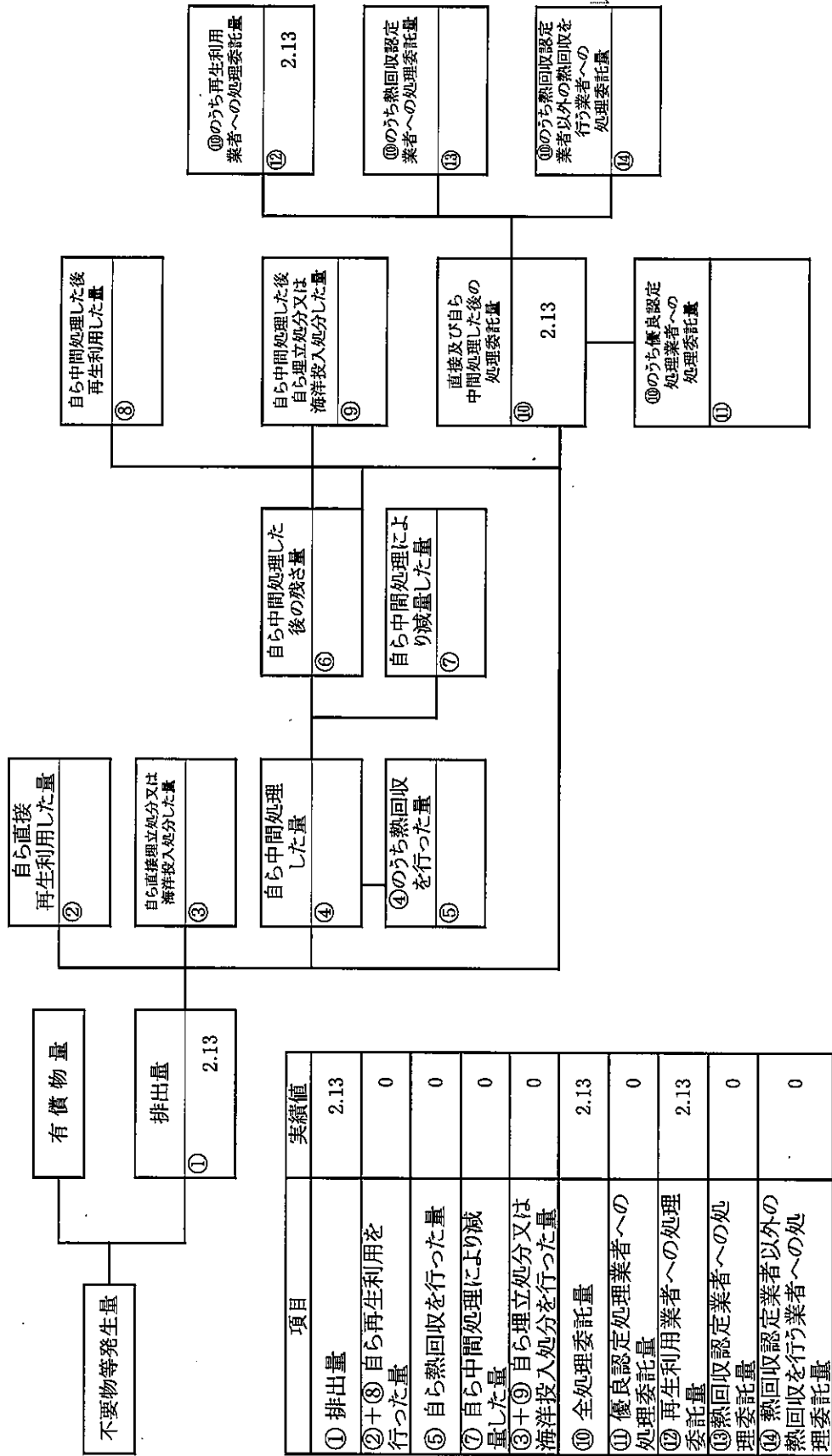
(産業廃棄物の種類： 1502 アスファルト・コンクリート破片)

計画の実施状況



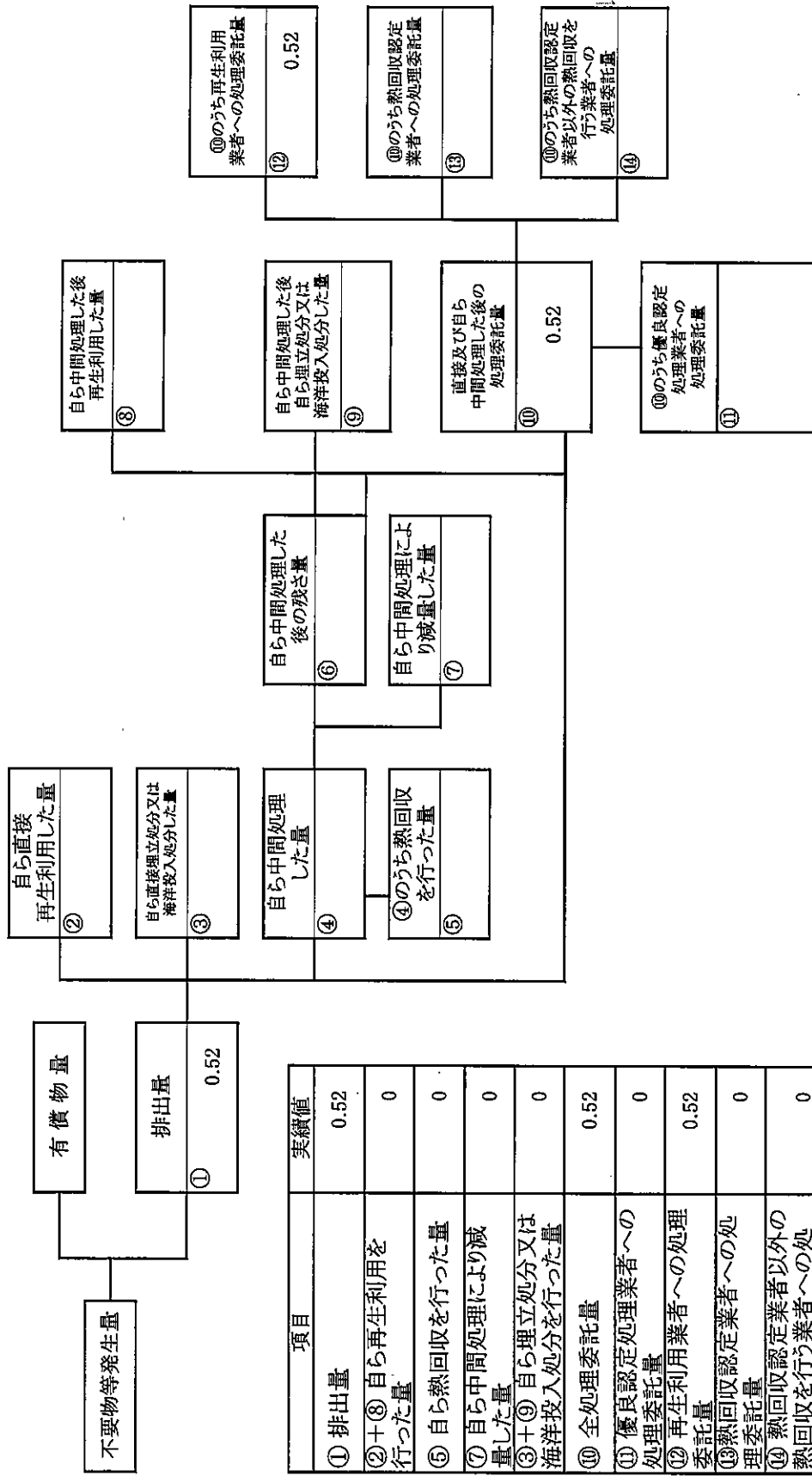
(産業廃棄物の種類： 2000 建設混合廃棄物 )

計画の実施状況



(産業廃棄物の種類： 2010 安定型建設混合廃棄物 )

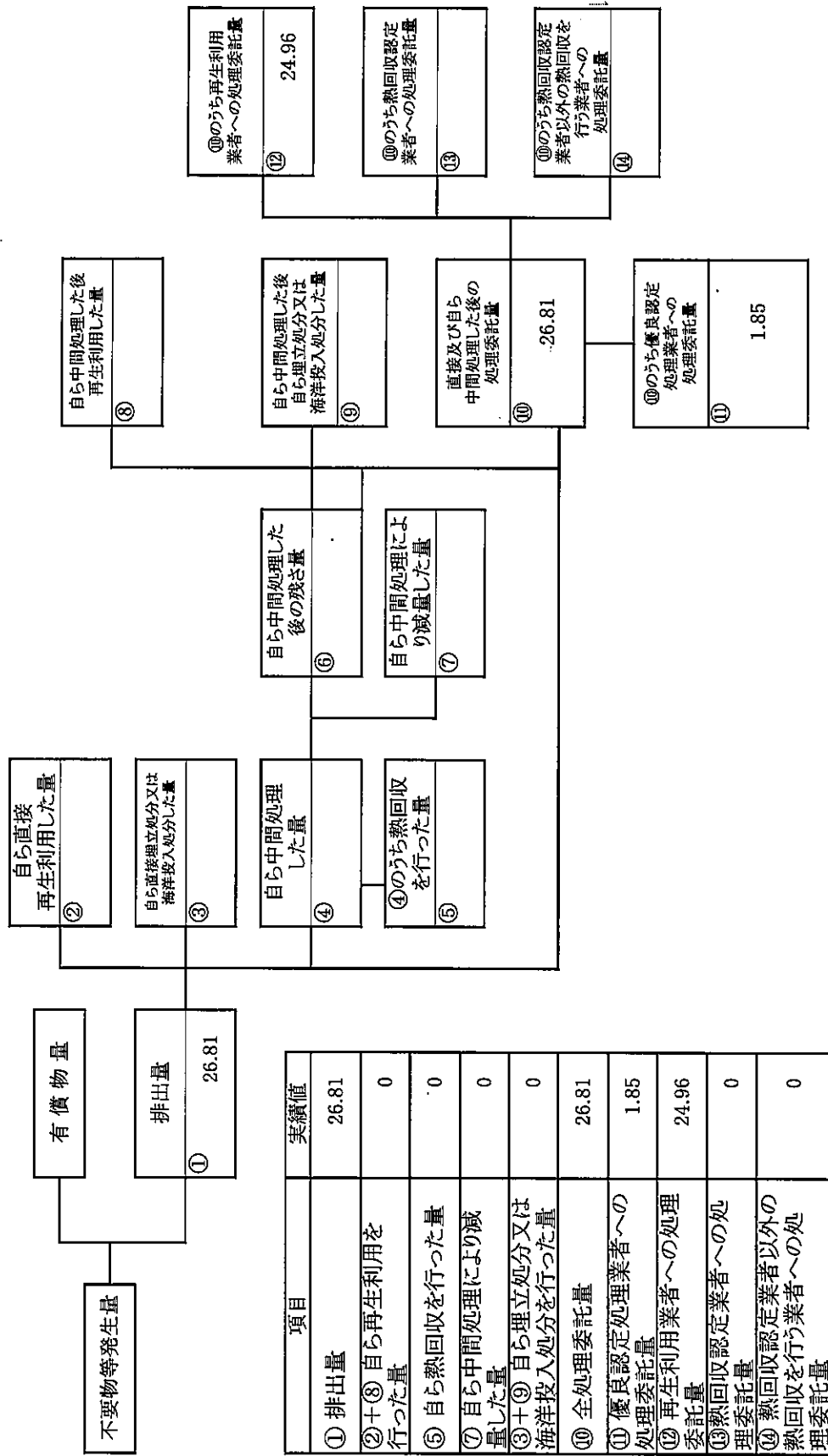
計画の実施状況



項目	実績値
① 排出量	0.52
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.52
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.52
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 2100 管理型混合廃棄物 )



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。